

市 営 住 宅 入 居 申 込 書

令和 年 月 日

津山市長 谷 口 圭 三 殿

入居希望市営住宅名	
-----------	--

申込者氏名 ㊞

次のとおり市営住宅に入居したいので、津山市市営住宅条例第7条第1項の規定により申込みをします。なお、本書記載内容が事実と相違するときは、入居に係る一切の権利を放棄します。
 また、入居者資格の審査の必要がある場合には、私及び世帯員に関する事項について、津山市が関係機関に照会を行うことに同意します。
 （※欄は記入しないでください。）

申 込 者	現住所	郵便番号 - 電話番号 - -						
		引き続き住んでいる期間 年 月						
	フリガナ							
	氏名	男・女	生年月日 年 月 日					
	勤務先 又は 営業所	名称 所在地 電話番号 - - 内線	勤務又は営業年数 年 月					
入居しようとする者	続柄	氏名	生年月日	職業	障害・特障・寡婦（夫）の有無	収入金額（年収）	所得金額	現況
	本人							
								同居・別居
								同居・別居
								同居・別居
								同居・別居
入居しないが所得税法上扶養している親族	続柄	氏名	生年月日	障害・特障・寡婦（夫）の有無		備考		

◎実態調査に必要なので必ず記入してください。

現在の住居の状況（□のあるものは該当の方に、レ印をしてください。）					
部屋数	畳数	炊事場 □有 □単独 □無 □共用	水道 □有 □無	便所 □有 □単独 □無 □共用	押入又は物置 □有、大きさ（ ） □無

職員記入欄

※ 所得金額の合計	※ 諸 控 除 該 当 欄	※ 公営住宅法でいう収入月収
円—	扶養者数 ()名 × 円	÷ 12月 円
	老人扶養親族等 ()名 × 円	
	特定扶養親族等 ()名 × 円	
	障害者 ()名 × 円	
	特別障害者 ()名 × 円	
	寡婦（夫） ()名 × 円	
	※ 控除合計 円	

◎実態調査に必要なので必ず記入してください。

該当する事項に丸印を付け、必要事項を記入し、又は該当の書類を提出してください。		※確認
住宅困窮の現況	1 住宅以外の建物又は場所に居住している。	倉庫・事務所・その他()
	2 保安上危険又は衛生上有害な住宅に居住している。	老朽住宅・仮設住宅・その他()
	3 他の世帯と同居して生活上著しく不便である。	借賃・間借・下宿・持家・寮 その他()
	4 間取り又は世帯構成との関係から衛生上又は風致上不適当な居住状態にある。	
	5 同居しようとする親族があるが別居している。	別居先()
	6 正当な事由による立退きの請求を受けているが、立退先がない。	立退きの要求を受けていることを証明する書類
	7 勤務場所から著しく遠隔地に居住している。	距離(片道) km, 所要時間 時間 分
	8 収入に比較して著しく過大な家賃を支払っている。	家賃 円, 家主氏名
	9 婚約中であるが住宅がないため結婚ができない。	婚約中であることを証明する書類(婚約証明書)
	10 その他(災害, 不良住宅の撤去, DV被害者, 犯罪被害者等)	状況を証明する書類

◆申込む月の前月から過去1年間の総支給額(税込み総支給額)(単位:円)

給与証明書 (給与所得者)	次の者は、当所に勤務し、次のとおり給与等を支給したことを証明します。						
	令和 年 月 日						
	給与支給者 所在地						
	名称及び						
	代表者氏名 ㊟						
	氏名		採用年月日		年 月 日		
	支給年月						扶養人員
	給与						人
	賞与等						
	支給年月						総支給額
給与							
賞与等							

現住所の付近見取図
(目標となるところをわかりやすく。)

◆申込む月の前月から過去1年間分(単位:円)

収入証明書 (事業所得者)	私の所得は下記のとおり相違ありません。						
	住所						
	氏名 ㊟						
	収入年月						扶養人員
	総収入額						人
	必要経費						
	所得額						
	収入年月						総所得額
	総収入額						
	必要経費						
所得額							

間取り図

◎入居しようとする親族に収入のある者がいる場合には、別の用紙に上記証明書と同様の内容の証明を受けてください。

婚約証明書	この申込みに係る者は、婚約中であり、令和 年 月 日婚姻の予定ですが、婚姻後の住宅に困窮していることを証明します。	
	申込者の親(又は仲人)	申込者の親(又は仲人)
	住所	住所
	氏名 ㊟	氏名 ㊟
	電話番号	電話番号